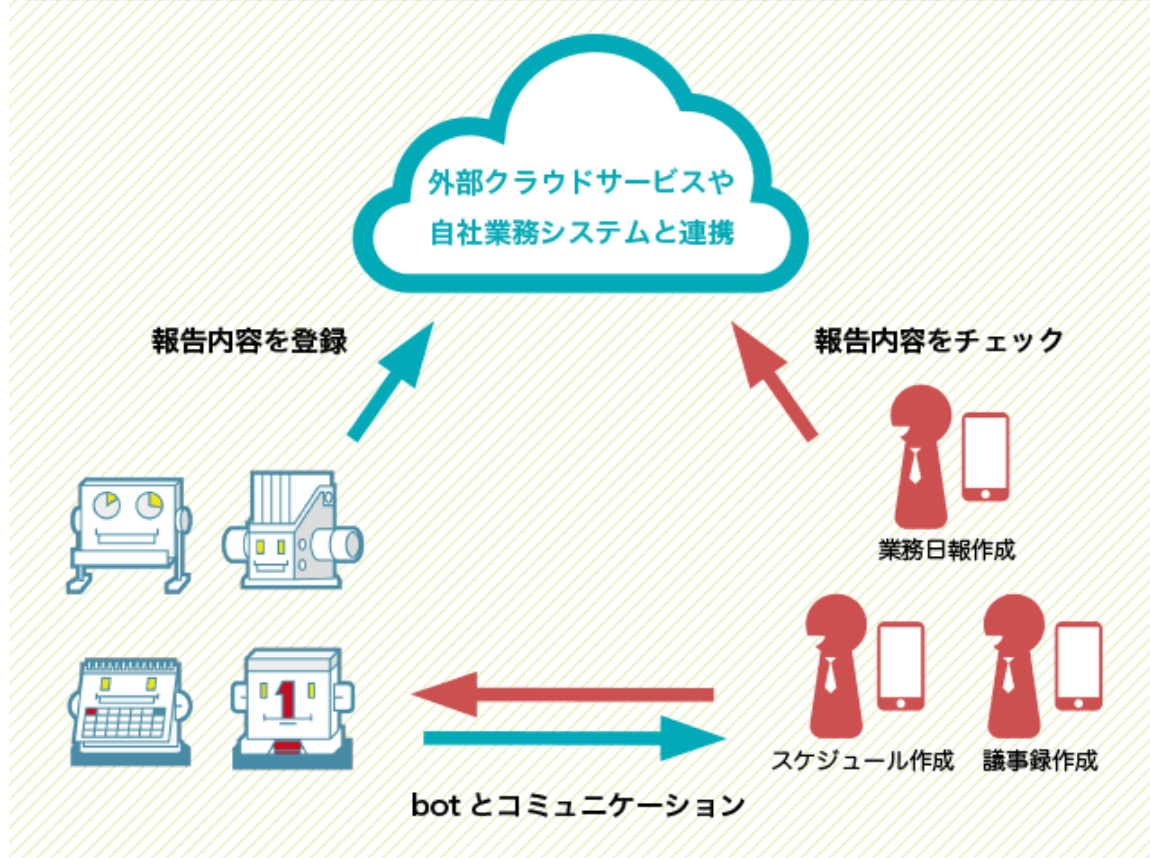


ChatBot(チャットボット)による 業務自動化ソリューション

2017年4月1日
株式会社インターメッセ

1. 簡単に言うと何が出来る？

チャットでボットとやり取りするだけで業務が自動的に完了



ChatBot
チャットボット
とは？

チャットを通じて
会話することで
業務を遂行してくれる
ロボットプログラム

動画紹介 日報：https://www.youtube.com/watch?v=AgJ_DdRNcIs
SFA：<https://www.youtube.com/watch?v=7lom6hylvdY>
顧客：<https://www.youtube.com/watch?v=ydxUv3MvI5E>

2. まずはチャットコミュニケーション

ビジネスチャットだけでも、これだけできる

撮影した
写真や動画
音声の共有

過去のやり
取りや添付
ファイルを
検索

今この瞬間で
GPS位置
を地図で
共有

未読・既読
を把握して
フォロー

組織を設定
して
コミュニケーション
制限

全社一斉
連絡通知

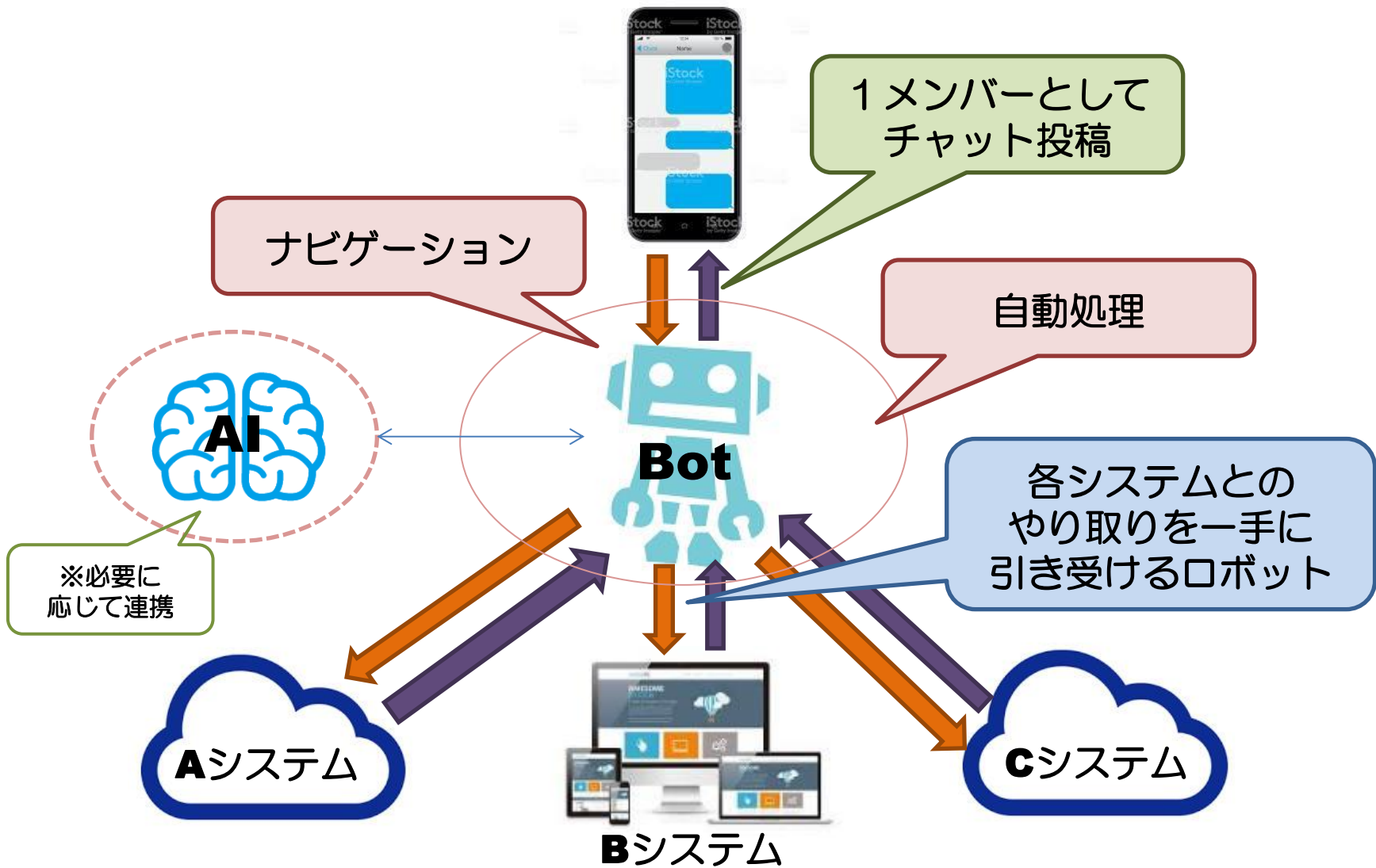
動画紹介

https://www.youtube.com/watch?v=c0bD_GPpFXM

<https://www.youtube.com/watch?v=iZgqVH7mV3s>

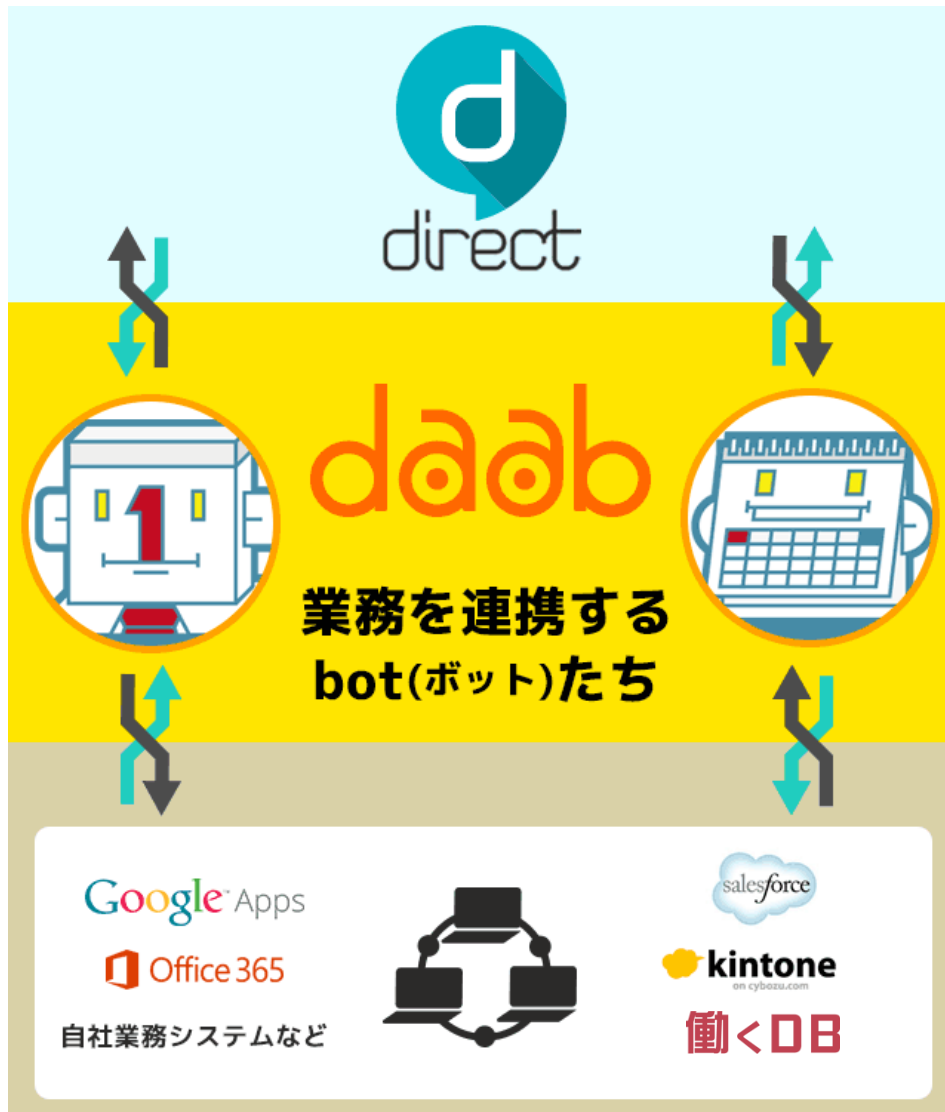
3. もっと効果的な使い方

ボットが複数のシステムへアクセスして情報を入出力し、業務を自動化



4. サービス全体イメージ

様々な業務システムを意識せずにデータ入出力、自動処理化が実現



スマホネイティブなビジネスチャット
セキュリティ重視
管理機能が充実
導入企業800社以上

弊社がロボット開発プラットフォーム daabを利用して効率的にロボット開発
- コミュニケーション(会話) 設計
- 業務システム連携設計
- ボット自動処理機能設計
- ボット開発・テスト

API (システム連携機能) 付きの Webサービスやデータベースへのアクセスができる既存業務システムであれば、ボットが自動連携して、チャットからの入力、チャットでの情報参照が可能になる

5. BtoC領域での先行事例



2017年3月23日：日経コンピューター
LINEで保険手続き完結、ライフネット生命が国内初

ライフネット生命がLINEを使って始めるのは、保険契約の「保全」、保険金の「支払い」、契約内容の見直しなどの「契約」という三つの手続きだ。

保全とは契約者の名義や住所の変更、支払い方法の変更など、保険契約者情報の管理業務を指す。

同社の約15万人の保険契約者を対象に、9月にも保全手続きから順次提供を始める。

「いらっしゃいませ！ご利用になるお手続きをお選びください」

「名義変更の手続きを知りたいんですけど」

「かしこまりました。ではお客様のご契約情報を教えてください。まずお名前を…」

サービスの利用イメージは、このようなものだ。

利用者はチャットに答える形で、氏名や住所、生年月日、契約者番号、保険契約の名称などを送信する。

加えて、「いくつぐらいの保険商品があるんですか？」といった自然文での問いかけも可能という。

必要に応じて選択形式のメニューを対話画面に表示し、利用者が何を入力していいか迷わないようにする。

ご参考：<http://itpro.nikkeibp.co.jp/atcl/column/14/346926/032200896>